



Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。大槻は岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤める5度目の梅雨です。穏やかな日常の中で、音楽や自然と向き合いながら、過ぎ行く時を楽しんでいます。

このコラムは二か月分なのでリアルタイムな様子ではなく、一年前の様子をお伝えします。



2024年7月、岡山市の天神山プラザで大槻も出演している大西貴也監督作品「ミネルヴァの梟」の上映会。出演者が壇上で撮影秘話などの紹介。右から3番目に大槻。



夏の新庄村役場前の広場。村出身の彫刻家・金盛氏の作品も少し暑そうです。



高梁市「吹屋ふるさと村」でのLIVEに出演。暑い日でしたが、久しぶりのSOLOで、楽しめました。



真庭市蒜山の道の駅の裏手—ひまわり畑。夏そのものです。この日はdaughter & wifeが倉敷からやって来て、倉吉へ足を伸ばし日本海を眺めました。



真庭市久世エスパスホールで、音楽好きが三々五々集まって、自らが披露したり、セッションをしたり……楽しい会に参加しました。



さて、頂き物のサイズとカラーがバラエティーに富むミニ〜ミディ・トマトです。これがまた美味しいんだなあ。



お盆休みの最中、daughter & wifeが倉敷からやってきて、蒜山や倉吉で遊んだ後、官舎でBBQ。そして、この後、花火大会と盆踊り見物に向かいました。



今年(2025年)秋には西日本で初めて「サルナシ」サミットが開催されます。ひめのもちに続く名産品にと推しの「サルナシ」

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。

大槻の作詞作曲で、サブスクなどではリリースしていませんが、ネットラジオ「雲心月性」でリンク企画として、7、8月にそれぞれ別バージョンでピアノ弾き語りをする予定です。

なんと1973年に作った曲「自由なふたり」。

ひまわり色の光が
カーテン揺らし差し込む
眩しい午後の部屋には 自由なふたり
大きな窓を通して
あなたは何を見てるの
光を拾い集めた ドレスを着けて
あゝ いつまで 自由なふたり
愛の眩しさに 何も見えない

瞼をそっと閉じると
オレンジ色の洪水
二人を包む真夏は 微笑むばかり
両手に抱えきれない
二人の愛の想いが
光の中に溢れて しあわせばかり
あゝ いつまで 自由なふたり
愛の眩しさに 何も見えない

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいましたが、国際平和や、天災からの復興を祈念し続けています。

プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

1956年:京都府福知山市生まれ
1970年:京都府陸上競技大会100mハードル2位・KBS近畿放送AMラジオでリスナーの歌詞採用
1972&75年:NHKあなたのメロディー出演
1974年:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
1977年:YAMAHA神戸との連携で楽曲制作依頼
1981〜2021年:川崎医科大学血液内科〜衛生学
1992〜1996年:米国留学(ミネソタ大学&NIH)
1997&2024年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作・準佳作で「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnetラジオ:パーソナリティ開始
2011年:Camnetマガジン:連載開始
2014年:サブスクにて自作自演アルバムリリース開始
2021年:新庄村診療所所長(現職)

♪オリジナルCD
プレゼントします!
詳しくは
プレゼントコーナーで